

2019年度 学校教育の重点
小中・特別支援学校

R1 阿賀野市立安田中学校 グランドデザイン

「主体的・対話的で深い学び」の実現
粘り強く挑戦するひとづくり

授業改善
授業者が主体的に授業に取り組めるよう、すべての教科等で、授業計画の作成や授業の取入れなど「準備時間」1分を確保して授業で活用できるように学校で取り組む。

探究教育
理解がはじまります。教科探究を深め、探究の理解を深め、自ら学ぶ姿勢を育てる。探究活動を通して、探究活動の学びの過程が中学校で実践できるように、授業の改善に取り組む。

一人一人の教育的ニーズに応じた指導・支援

道徳教育
思いやり、誠実、責任、礼儀、規範意識の涵養を図る。道徳教育の推進を図る。道徳教育の推進を図る。道徳教育の推進を図る。

特別活動
特色ある活動を通じ、主体的に活動に取り組む。特色ある活動を通じ、主体的に活動に取り組む。特色ある活動を通じ、主体的に活動に取り組む。

人権教育、同和教育
人権意識の涵養を図る。同和教育の推進を図る。人権意識の涵養を図る。同和教育の推進を図る。

協働の結実を生かし、協働ととまじむ学校づくり

教育目標【学習】 すすんで学習に取り組む生徒

教育
＜成果目標＞
① 学習に対して、困難を感じた時にも既習の知識、技術を活用して、粘り強く課題に取り組むことができる生徒の割合が80%以上になる。
② 家庭学習をプランニングタイムで立てた計画に基づき学習に取り組む生徒の割合が80%以上になる。

＜教育活動＞
① チャイム学習、学習支援日、長期休業中の学習会等を活用し、基礎基本の定着を図るとともに、全国学力・学習状況調査の問題を活用して授業を行う。
② 終学活+5分のプランニングタイムで、家庭学習の計画を具体的に立て、学習に取り組む。

＜運営活動＞
① 全国学力・学習状況調査、NRT検査の結果分析を元に、授業改善に取り組む。
② 終学活+5分のプランニングタイムで、計画を立てることが出来ない生徒、学習に取り組むことが出来ない生徒に対して、丁寧な指導を行う。
年3回の小中連携家庭学習強調週間を設定し、家庭学習時間調査をもとにした生徒と保護者へ、中学校区便り、学校便り等で啓発の取組を行う。

学校・生徒の実態
○学習への意識が高まりつつあるが、基礎的な内容にねばり強く取り組む必要がある。
○生徒の中に学校をよりよくしようとする気運が高まりつつあるが、人間関係の希薄さやコミュニケーション能力の不足が感じられる。

保護者等の願い
○他者とのかわりの中で、自らを高められる生徒に育ってほしい。

目指す学校の姿
○生徒にとって、「安心して登校でき、楽しく学べる学校」
○保護者や地域にとって、「安心して子どもを任せ、協力して支援したくなる学校」
○職員にとって、「仕事にやりがいを持ち、自分を高めることができる学校」

目指す生徒の姿
○思いやりがあり、自他の良さを認め、正しく行動できる生徒
○あきらめずに、意欲をもって自ら学び、他との関わりの中で自分の考えを表現できる生徒
○健康に関心を持ち、進んで健康、体力づくりに取り組む生徒

特別活動部
○全校統一の学級活動 ○互いに高め合う集団作り
(自己・相互評価の機会の充実)
○SGE,SSTの実践 ○生徒会による生活向上の取組み

保護者や地域等と連携し、次世代を担う子どもたちの姿を提案できる学校

高め合い、行動力のある職員集団

学力向上部
○学力分析と課題把握
(NRT、Web配信テスト等の各種調査)
○言語活動の充実(コミュニケーション活動)
○少人数指導 ○朝学習の実施
○家庭学習定着に向けた終学活の活用
○学習会(長期休業中) ○定期テストの学習支援

体育
＜成果目標＞
自分の健康と朝食の取り方を関連付けて考えられる生徒の割合を60%以上にする。
②11時までに就寝する生徒の割合を70%以上にする。
③昨年度の体力テストの結果を受け、今年度各種目の数値の向上を目指す。また、体力テストを学期に一度取り組み、数値の向上を目指す。

＜教育活動＞
①朝食振り返り週間を年2回実施し、結果を活用した指導を行う。
②メディアコントロールと関連付けた生活振り返り週間を年2回、メディアチャレンジを年2回実施し、結果を活用した指導を行う。
③保健体育の授業で、週1回以上総合的な体力向上のためのトレーニングを実施する。

＜運営活動＞
①朝食の取り方を実行するには家庭の協力も必要なので、調査結果を保健だよりに記載し啓発する。
②生活習慣の改善は、家庭との連携が必要不可欠であることから、担当から出された結果を学年で分析し、保健だよりや学年PTA等で啓発する。
③体力テストの結果を受け、体力向上のための研修を部活動の合同トレーニング形式で実施する。

教育目標【生活】 けじめをつけて生活できる生徒

2019年度 阿賀野市学校教育の重点

基本理念 「自立・信頼・共生が拓く、私たちの未来・ふるさとの未来」

主体的に学び、協働的に問題の解決に取り組む姿
人と人のかわりに気づき、支え合う姿 **信頼** **共生** 互いのよさを認め、高め合う姿

基本方針	目標	小・中学校教育の重点	努力事項
生活者の育成	① 生活者の育成	① 生活者の育成	① 生活者の育成
学校教育の推進	② 学校教育の推進	② 学校教育の推進	② 学校教育の推進
研を深める地域・協働の推進	③ 研を深める地域・協働の推進	③ 研を深める地域・協働の推進	③ 研を深める地域・協働の推進
安全・安全と安心・安全な環境づくりの推進	④ 安全・安全と安心・安全な環境づくりの推進	④ 安全・安全と安心・安全な環境づくりの推進	④ 安全・安全と安心・安全な環境づくりの推進
目標	⑤ 目標	⑤ 目標	⑤ 目標

【生徒に育みたい力】(社会性と学力)
・自己肯定感・自己有用感
・自ら考え、自ら学ぶ力(学力の向上)
・豊かな人権感覚
・人間関係づくりの能力・スキル

○進路指導(学ぶ意義と目的を考える学習の充実)
○薬物乱用防止・性教育
○家庭への適切な情報提供と信頼関係づくり
○防災教育の充実

心の教育部
○人権や人間関係づくりの学習の充実(強調月間6月・11月)
○教育相談の充実(5月・9月)
○「社会貢献の意欲の向上」や自己の生き方について深く考える機会」の充実
○人権後援会

徳育
＜成果目標＞
以下の質問項目について、肯定的評価(4件法でA,B)の生徒の割合がそれぞれ下記の数値を超える。
①自分の仕事に責任をもって取り組むことができた。(A...4割 AとB...8割)
②自分の仕事ほかの人の役に立っていると感じる。(A...4割 AとB...8割)
③自分とは異なる考えや行動をする人がいても、それを個性と受け止め、差別や偏見をもたず接している。(A...4割 AとB...8割)
④進んで学級・少人数の話し合いに参加している。(A...6割 AとB...8割)

＜教育活動＞
①行事後や学期末に全校で統一の話し合い活動をし、学級目標に向けた自己の活動を振り返る。(成果項目①②④と運動)
②各学年で「生きるIV」を活用し、人権尊重に対する意識を高める。(成果項目①②③と運動)
③班活動・係活動を積極的に取り組ませる。(成果項目④と運動)

＜運営活動＞
話し合い活動を効果的に実施するために、FTやSGE、SSTの研修や、係活動に関する研修を行う。
道徳教育、同和教育ならびに「特別の教科 道徳」に関する職員研修を行う。

教育目標【心情】 思いやりのある心豊かな生徒